

天恩郷みろく会館では、四月二十八日から七月一日の予定で「開教百二十年慶祝耀』に権枢苑のみどく属では、出口すみ子二代教主さまご使用の更生車やご遺品が展示

の一部が常設展示されることとなりました。

優雅なひとときを持たせていただき、

東京本部・東京宣教センターでも、

有縁の方に大本の紹介をする大きな力に

去る四月一日、

「東光苑観桜茶

が開催され、選び抜かれた三十点以上の耀盌が展示されるほか、

前出の

「亀山城と

五代教主作 灰釉茶盌 銘 ゆっぱさる



題字 出口直日

巻 第518号 行 大本東京本部 東京宣教センター センター長 浅田秋彦 通巻 発行 〒 110-0008 東京都台東区池之端

TEL 03-3821-3701 (IP) 050-5510-9502 FAX 03-3821-5283 URL http://oomoto-tokyo.com

大本紹介の大きなチカラ

総務管理課長

茂ぱる

開教百二十年慶祝行事の一

門展」

「企画

初めて観てその極みにあらためて驚かされました」など、讃美の声が寄せられ

大阪本苑主催による作品展

「王仁三

「素晴らしい作

E-mail tokyohonbu@oomoto.or.jp 今月の聖言

画為 や歌に筆はしらせて天地

神み

ŧ

さををわれは 出口王仁三郎聖師 の ひ 木き らく 村ら

阿づまの光

一服の薄茶とともに歴代教主・教主補

諸 行

事参加の折りには、ぜひご拝観いただき、ご神徳に浴していただきたいと存じます。

「出口なお・出口王仁三郎の世界を語る」より

一つの神、一つの世界、一つの言葉

みろくの世への道筋



新森良 (東京宣教センタ よし かで良秀

||||世界を一つにする|||||||

にする》がキーワードです。 世の建設です。今日のお話は、 大本の眼目は、立替え立直しとみろくの 《世界を一つ

れています が致してあるぞよ』と世界の将来が預言さ う世になりたぞよ』『一つの王で治める経綸 出口なお開祖の筆先には、『艮の金神の構

なります。 を向いていたのでは、家の中がバラバラに 家庭一つとりましても、各々が別々の方向 心に沿うと言う相応の世界です。例えば、 自分の意志想念であり、 みろくの世は内面において、神の御心は 自身の考えは天の

す。御心に沿うという少し観念的な表現に 明るく楽しく、 そして天人、天使、霊界に至るまで、中心 本はここにあります とです。私たちの衣食住の全ての生活の根 ますと、まず「月日と土のご恩を知る」こ なりましたが、具体的にいくつか上げてみ に神があって、 家族はもちろんのこと人類や世界の国々、 箱さしたように進む世界で 全てが一つの心になって、

もの勝ちの悪の栄える世」と厳しく警告さ 「神の存在を忘れた、我よし強い

> 直す」ことです。〈直日〉は私たちの良心で 思います にとらえていくことも御心に沿うことだと 「直日に見直し聞き直して、身の過ちは宣り はないでしょう。そしていま一つは、人は 我よし強いもの勝ちの〝獣の心〟を改める。 目、この神は「改心」を迫っておられます。 れています。 す。良心に照らして、 心に沿うことはあり得ないことです。二つ このことを抜きにして、みろくの世の到来 天地のご恩を忘れて、 物事を明るく前向き 神の御

張状態で原稿に向かっています。 も肺臓も神経も、足の指の先に至るまで緊 面に向かって集中しています。そして心臓 ですが、実態はというと、目も耳も鼻も画 の全体を一つの大神人体なる《単元》として、 状態を詳しく説いています。天人は、天国 自身がその一部であることを知っています。 例えば、パソコンに向かって原稿を書く また、出口王仁三郎は霊界物語に天国の 外観上両手の指だけが動いているよう

億兆一心、 心同体にありません。 周りは我関せず焉という状態です。 しかし今の時代は、指が動いていても、 のため、 そういう心がけで当たりますか 全体は個のための一体感、 天国は、 上下一致、 個は全

有りようが示されています と教えています。ここに《世界を一つにする》 全無欠に成就していくところが天国の姿だ

ら失敗することがないわけです。全てが完

そこで本日の本題である「一つの神」「一

講師

めたいと思います。

つの世界」「一つの言葉」についてお話を進

り小川となり、下流に行くほど川幅が広が 雨水の流れに例えて、宗教も最終的には り、そして大海に出て一つになる。自然の 山や谷、丘に降った一滴の雨水は渓流を作 つになるという教えです。 な宗教協力、宗際化活動を指しています。 一つに成る仕組』とのお示しがあります。 筆先に『谷々の小川の水も大川へ、末で まずはじめの『一つの神』とは、 国際的

であるぞよ』 つであるから、 『神は元は一株であるから、 しまいには皆一つになるの 神の道は皆

重要なのです 『みろくの世になれば大本だけでなく宗教自 教えはそこから生まれました。王仁三郎は を、隠退された神の分霊として降されたと ちの悪神がはばる世界になり、 の主義、主張、 体が必要なくなる』と示しました。大元神 孔子、孟子など、その時代、地域に必要な神々 ゼ、イエス・キリスト、マホメット、釈迦、 守護をされる時代を迎えます。そこで、モー の主権のもとに、穏やかに治まっていまし 教えられています。元は一株、万教同根の た。ところが時代が下り、我良し強い者勝 太古の神世の昔は、この世を造られた神 精神をしっかり守ることが 神は陰から

のことでした。

前で日本の神式の祭典を行ったことは、 執行され、十字架のあるキリスト教祭壇の

いキリスト教の歴史と伝統の中で、初めて

一一有形・無形の障壁の撤 廃

ばいけません。 があり、その障壁を乗り越えていかなけれ 世界平和への道には、 有形と無形の障壁

種間同士、あるいは宗教同士の敵愾心のこ とを言います。 民地主義のことを言い、無形の障壁とは人 有形の障壁とは、 軍事力や覇権主義、 植

の思想と、人類愛善の精神が必要です。 ず無形の障壁を取り除かなければなりませ ん。そのために必要なのは、 有形無形の障壁を取り除くためには、 先の万教同根 先

ネ大聖堂で、 受けました。中でもニューヨークの聖ヨハ や耀盌、出口すみこ二代教主の書、出口直 仁三郎とその一門の作品展」が開催されま から宗教協力に発展した歴史があります。 り組んでまいりました。その一つに、芸術 日三代教主の茶碗などが非常に高い評価を した。この作品展において王仁三郎の書画 メリカなど欧米六ヵ国十三都市で「出口王 ンス、オランダ、ベルギー、イギリス、ア 昭和四十七年から三年三ヵ月の間にフラ 大本は無形の障壁を取り除く諸活動に取 大本祭式による開催奉告祭が

した。この祭典は、当時マスマディアが の神殿でキリスト教の礼拝式を執行されま 聖地である綾部・梅松苑に来苑され、大本 聖ヨハネ大聖堂のモートン聖堂長が大本の なる冒険」と大きく紹介し、 そのことが縁となり、昭和五十二年には 宗際化の始ま

りとなりました。

ておいていただきたいと思います。 日本宗教委員会の存在があったことも知っ を受賞します。この大きな出来事の背景に、 ナイ半島を円満に返還し、サダト大統領と のである」と演説されました。イスラエル 間である。神の造りたもうた人間が敗者な 単身イスラエルに渡り、国会で「戦争によっ ちは宗教者として世界平和のために頑張る が始まりました。そしてエジプトのサダト イスラエルのベギン首相はノーベル平和賞 は、中東戦争で侵略したエジプト領土のシ て勝者も敗者もあり得ない。破れるのは人 に尽力していただきたい」と提言しました。 ので、あなたは大統領の立場で、中東和平 の代表が『一隅を照らす』話をされ、 大統領に接見した折りに、日本宗教委員会 ム前総長と日本宗教者委員会と正式な交流 エジプト・アズハル大学のムファマドファー この言葉に感銘を受けたサダト大統領は、 また同時期、 イスラムの最高学府である 「私た

そして昭和六十二年世界の宗教指導者があるど世界の宗教者代表が祈りの言葉が教など世界の宗教者代表が祈りの言葉が中教など世界の宗教者代表が祈りの言葉が中教など世界の宗教者代表が祈りの言葉が中教など世界の宗教者代表が祈りの言葉が、まれて、「世界の宗教者代表が祈りの言葉が、という。

ありません。イスラム教徒でもありません。 高音主義でもありません。 神は正教徒ではの集い」では、ドイツのムッツシショフ大の集い」では、ドイツのムッツシショフ大まで、イタリアの聖エジディオ共同体がまた、イタリアの聖エジディオ共同体が

道です。

晴らしい言葉を残しています。神はすべての人間のための神です」と、素仏教徒でもありません。神は神であります。

のです。 末で一つになる時代を迎えようとしている 末で一つになる時代を迎えようとしている

|||||つの世界|[世界連邦運動]||

るぞよ』とのお示しがあります。んから、一つの王で治める経綸が致してあも王が世界に在れば、此の世に口舌が絶えも王が世界に在れば、此の世に口舌が絶えて到を指しています。筆先に『七王も八王二つ目の『一つの世界』とは、世界連邦

界の枠組み作りが必要になっています。とれが絶対主権を持っています。世界は今、ぞれが絶対主権を持っています。世界は今、が争や貧富の格差、環境、核、エネルギー、との問題は、一国だけでは解決でよれが絶対主権を持っています。世界は今、

ま世界に持って行くことが世界連邦への近 ます。このように、 警察官を除いて、 よって法治体制が確立できたのです。 法律が、日本全体に網をかけるごとくにく 藩置県により中央集権化がなされ、 の日本は世界と比べ、最も平和な国です。 るなど、行われてきました。しかし、 り、相手の城を潰すとか殿様を騙し討ちす の中に二百藩余りあり、藩同士で間者を送 まなく及ぶようになったからです。これに つは、 この平和な仕組と制度は、 日本も明治維新までは同じでした。日本 防衛や治安維持のための自衛隊や 武器の携帯を禁止してい 日本のあり方をそのま 明治時代の廃 憲法や いま 現在

互いの連帯を目指すものです。

支配から、《法の支配》による国境を超えた

支配から、《法の支配》による国境を超えた

世界連邦政府は「議会」「裁判所」「警察」

現在、国際刑事裁判所(ICC)という 現在、国際刑事裁判所(ICC)という ではなく個人が裁かれることになって います。しかしアメリカ、中国、イスラエル、 は国ではなく個人が裁かれることになって いません。

世界連邦の思想は、世界憲法草案として発表されています。一つは国家主権の一部を世界政府に委ねる。二つ目は各国の軍備は基本的人権を全てに優先させる。四つ目は人間の生活に欠くことのできない土地や水、空気、エネルギーは人類共有の財産であるから、国や個人が勝手にするものではあるから、国や個人が勝手にするものではないということ。この草案は昭和二十三年にできました。

また、近年の動きとして日本の国会は平また、近年の動きとして日本の国会は平郡連邦運動推進者はこの快挙に大変驚きまた。近界連邦への道の探求」という文言があり、「世界連邦への道の探求」という文言があり、「世界連邦への道の探求」という文言があり、「世界で最初に決議した国です。世界中の世世界で最初に決議した国です。世界中の世世界で最初に決議した。

ではなく、現実の出来事として期待できるすみ、世界連邦建設は決して遠い夢の世界将来的にはさらに大きな世界的な統合がす経済協力を軸に地域統合が進んでいます。のAU、北アメリカのNAFTAなどの現在世界は、ヨーロッパのEU、アフリ

時代を迎えています。

三つの言葉[エスペラント]

してしまいます。
最後の『一つの言葉』は、世界共通語エリ、場合によっては、紛争、戦争さえ起こり、場合によっては、紛争、戦争さえ起こり、場合によっては、紛争、戦争さえ起こしてしまいます。

エスペラントは、ポーランドのザメンホフという眼科医が考案した人造語です。彼が生まれ育った当時のポーランドは、ロシが生まれ育った当時のポーランドは、ロシ絶えなかったそうです。そのような状態を見て、人種も宗教も言語も超えた、皆が平見て、人種も宗教も言語も超えた、皆が平見て、人種も宗教も言語も超えた、皆が平り、人種も宗教も言語も超えた、皆が平り、人種も宗教も言語も超えた、皆が平り、大をつくりました。世界共通語として採力、大をつくりました。世界共通語として採力、大きのであると考えて、エスペラントをつくりました。世界共通語として採力により、

今一つ大事なことは、人類人主義(ホマラニスモ)という思想です。ザメンホフは、全人類は一つの家族であると言っています。ラントに力を入れる理由はここにもあるのです。

間違いなくやって来ます。です。世界を一つにするという天の意思は、全人類は兄弟同胞です。全人類は一家族

みろくの世の世界が待ち受けています。示された大橋を渡った先には、素晴らしい「一つの神、一つの世界、一つの言葉」と

3

東光苑春季祭式講習公

ヨシノが活けられ、

本席に花を添えた。



二十四・二十五の両 三十九人(内、 日に開催され、 式講習会は、 二人)が参加した。 三月 一般 のベ

特別クラスが葬祭の斎主養成をそれぞれ実 鎮座祭・祖霊鎮祭・庭上祭・結婚式まで、 祓式行事・月次祭まで、 夜間には親睦会が催された。 中級クラスが大神

果を試した。 本祭式認定試験に臨み、 初級と中級クラスの内、 二日間の実習の成 九人が大

東 光 茆 翻 桜 茶会

三十分から午後三時まで、東京宣教センター

東光苑観桜茶会は、

四月一日午前十

時

階の東光庵で催され、

六十八人が入席し

-服の薄茶とと 神奈川主会のみなさ 会の高野則子氏指導 のもと、埼玉・東京 んが接茶を担当 お茶席は、 埼玉主

席には、 ら届けられたソメイ 本席入り口と立礼 近隣信徒か

最

加者からは

「自分自身反省すること

東光 苑春 季 祭 中に、こんなに落ち着いた雰囲気の場所が る夕べ』にもぜひ伺いたい」といった感激 あったとはとても信じられない。『秋をめで 補さまのお作品展示が行われた。 の声が聞かれた。 今回初入席された方からは、「都会の真ん

ラスが基本動作・後 受講者は、初級ク

開教20年 東光苑春季大祭

午前十時三十分から、斎主・出口眞人氏の もと執行され、三百八十人が参拝した。 開教百二十年東光苑春季大祭は四月八日

中の皆さんが担当した。 ん姉妹、 身さん、 拝読は林崎隆之福島主会長、 女祭員は東京主会の伊藤奏流くん、 祭員は関東教区各主会祭務部長、 神奈川主会の堀幹子さん・茂美さ 伶人は宮咩会関東支部、 添釜は宇野社 大本神諭 土方清 少年少

徒の使命や分所・支部におけるお世話活動 あ いさつに立ち、 祭典後、 浅田秋彦東京宣教センター長が 開教百二十年を迎えた信

神人体として、教主さ 切に、大和合、し、大 があいさつになり、 梅』を見習い歩まねば まが示された『和合の 信仰の初心・基本を大 の原点に立ちかえり、 ならない」と強調した。 の重要性を説き いで出口眞人氏 開教

また一階の応接室では、歴代教主・教主 現や霊界の実在など う。今こそ大本の出 蓋が開いたように思 の根底にある感性の しながら「東日本大 ない」とのべられた。 近注目の書籍を紹介 を伝えなければなら 震災を機に、日本人



直心会の皆さんが愛善歌「楽天」と唱歌「ふ の皆さんが八雲琴「木の花」を、 るさと」の合唱を奉納した。 続いて奉納行事に移り、 宮咩会関東支部 関東教区

一郎の世界を語る

五十九人(内、 てくる」と題して開催された。 かに生きるか―幸せは不幸の顔をしてやっ 藤原事務所会長を講師に「激動の時代をい 午後七時から八時三十分まで、 航空会館において、 П 王仁三郎の世界を語る』は、 第一一〇回大本公開講座『出口なお・出 一般四十七人)。 藤原直哉シンクタンク 港区新橋の 四月十八日 参加者は

中で、 中で良く省みて行動しなければならない」 のは、 仰生活の中で感じた祈りや神書拝読の大切 と説いた。 重 さを紹介されたほか、 要性などを解説。 講座では、自身の大本との出会いから信 逆に良くなっている証であり、その 形にとらわれずに心を改めることの 「世の中が不幸に見える 混迷を極める現代の

東光苑祭典· 行事予定

月

教主生誕祭、三代教主・教主補聖誕祭 4 日 (金) 午前10時半

開教12年みろく大祭選拝祭

5 日 $\widehat{\pm}$ 午前10時半

東光苑月次祭・市杵島姫命例祭 13 日 <u>目</u> 午前10時半

「出口なお・出口王仁三郎の世界を語る」 講題 出口王仁三郎の予言

第5回関東エスペラント合宿 16 日 講師 水 浅田秋彦(東京宣教センター長) 未来の世界・経済・教育は-午後7時~8時半

18 日 (金) ~ 20 日 〔日

6月

島姫命例祭 東光苑月次祭・世界平和祈願祭・市杵

「出口なお・出口王仁三郎の世界を語る」 10 日 講題 日本および日本人の使命 $\widehat{\mathbb{H}}$ 午前10時半

講師 20 日 水 森 良秀(東京宣教センター次長) 午後7時~8時半 日本は世界の要―

毎週月・水・金曜「常設対外講座」開催中

[夜の部] [昼の部] 講話 実習 午後7時~8時半 午後2時~3時半

かれた。 が多々あり、 (五十七歳・男性・一般)」などの感想が聞 今後の生活のヒントになっ